

経営比較分析表（令和5年度決算）

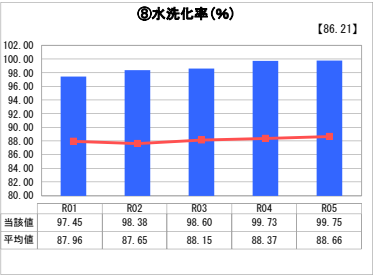
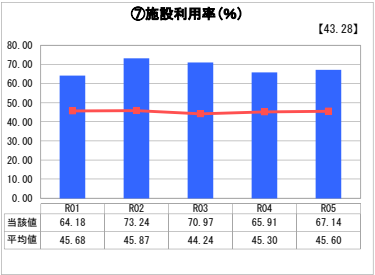
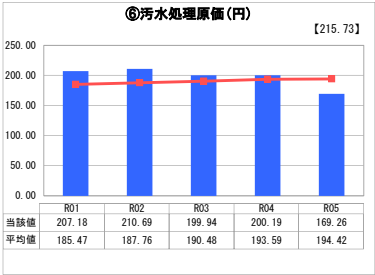
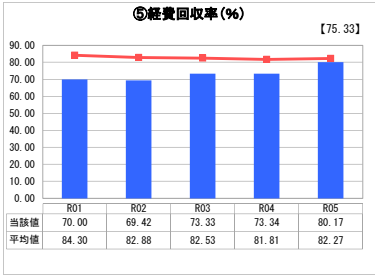
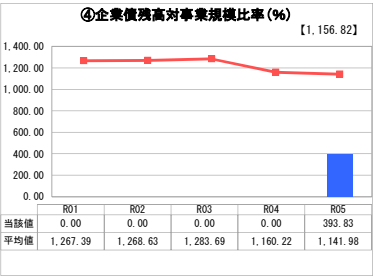
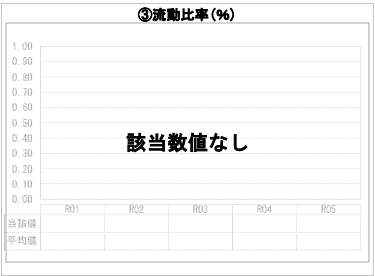
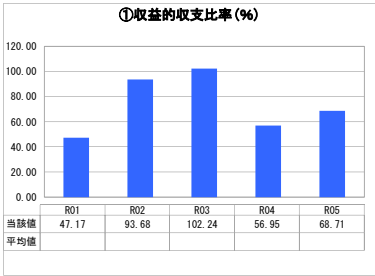
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	24.64	70.76	2,530

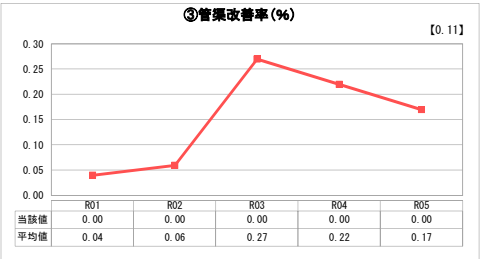
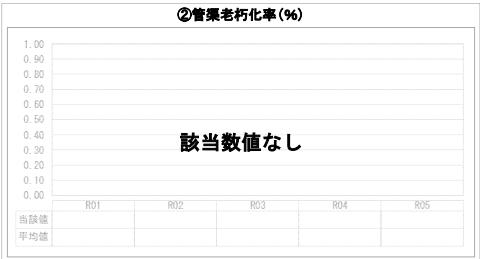
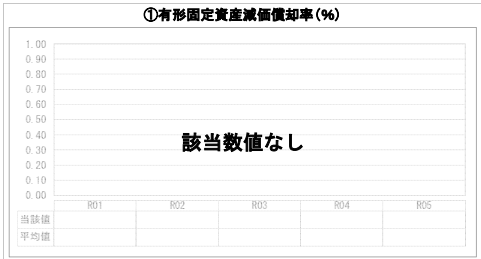
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,900	94.43	189.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,374	1.81	2,416.57

■ 当該団体値（当該値） — 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率については100%を下回っており、総収益の大部分、特に公営企業債の償還については全額を一般会計からの繰入金に依存している状態となっています。令和6年度からは下水道事業会計の公営企業法適用化を行う予定としており、経営状況の見える化を図ると共に、経営戦略の見直しを行い、料金改定の検討を実施することで財源確保等の経営改善に向けた取組を行っていきます。

④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値を下回っていますが、企業債残高は償還進捗により年々減少していますが、施設の大規模更新工事に着手していることから、今後は使用料収入の改善を図り、計画的な新規借入を行っていきます。

⑤経費回収率は料金収入がほぼ横ばいで推移しており、100%を下回る状態が継続していることから汚水処理費の抑制や料金収入の増加に務めていきます。

⑥汚水処理原価は類似団体平均値とほぼ同数値となっていますが、継続して管路調査等の実施による不明水対策を行い、維持管理費の更なる削減に努めます。

⑦施設利用率は、前年度比1.2%の増となり類似団体平均値も上回っていますが、今後は人口減少等に伴い利用率の低下が見込まれるため、本指標を分析して必要な対策を講じていきます。

⑧水洗化率は前年度とほぼ同数値となっており、ほぼ100%の水洗化率となっています。また類似団体平均値も大きく上回っている状況です。今後も公共下水道の接続を推進し、水洗化率100%を目指します。

2. 老朽化の状況について

本町の特定環境保全公共下水道事業は昭和55年4月に志比処理区で、昭和62年4月より中央処理区で供用を開始しました。志比浄化センターについては、平成30年度末で汚水処理を廃止し、中央処理区への接続を完了しています。中央浄化センターについては供用開始から37年が経過し、機械設備等の更新時期を迎えているためストックマネジメント計画に基づき令和4年度より大規模な改修に着手しており、設備の長寿命化を図っていきます。また、令和6年度からの公営企業法適用化を予定しており、固定資産台帳の整備を行っています。今後は資産の老朽化状況を明確にし、適切に老朽化対策を進めていきます。

全体総括

本町の特定環境保全公共下水道事業は収益の大部分を一般会計からの繰入金に依存し、経営状況は脆弱な状況が続いています。使用料収入は人口減少等の影響から今後の増加は見込めず、一方では施設や管路の老朽化により修繕費や工事費が増加する見通しとなるなど課題が多いため、今後は施設改修や管路更新の詳細な検討を行うと共に、令和2年度に策定した公共下水道事業経営戦略の改定を行い、経営健全化・事業効率化を進めていきます。また、経営状況を可視化し、住民への周知及び理解をより一層図ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。